

第24回全国集会在霞ヶ浦を舞台に開催されました

水草研究会の第24回全国集会在、2002年8月24日と25日の両日に霞ヶ浦湖畔の亀城プラザ（茨城県土浦市）で開催されました。霞ヶ浦においては、生態学や工学の専門家、NPO、行政などの協力のもと、さまざまな湖岸植生帯の復元が実施されています。昨年の全国集会在で桜井先生や角野先生から大規模に自然を復元しようとしている霞ヶ浦において、全国集会在を開催してほしいという依頼がありました。霞ヶ浦の周りではめずらしい水草はないので断ろうとしたのですが、「復元の現場でいい」、ということだったので、水草に関しては素人の工学者である筆者が、今回の事務局を務めることになりました。やや工学よりの現地見学コースであったため参加者が少ないのでは、と心配しましたが東京から近いこともあってか総勢78名の参加をいただきました。

1. 池田樹広・松本 健・田中 修（甲南大・理工）・別府敏夫（帝京科学大・バイオサイエンス）：アオウキクサのストレスに対する反応
2. 笹原 治・原田よしこ（(株)グリーンシグマ）：佐潟自然生態観察園における水生植物の保全・増殖
3. 中村俊之・一野香織（(有)ウェットランド研究所）・石田真奈美（淡路景観園芸学校）・山本祥子・吉田勝宏（(有)ランドシャフト）：上津公園における播種による水辺植生創出の試み
4. 安藤義範・笹田直樹（(株)ウエスコ大阪支社）・山本孝洋（(株)ウエスコ米子支店）：兵庫県浜坂町田君川におけるバイカモ群落復元までの観察記録
5. 折目真理子・西川博章（(株)ラーゴ）・浜端悦治（琵琶湖研究所）：畑地化していた湿地の植生復元は可能か—滋賀県近江八幡市津田内湖での事例—
6. 鈴木康夫：生育環境の変化によるミクリの実の大きさの相違
7. 西廣 淳（東京大・農学生命科学研究科）：霞ヶ浦における土壌シードバンクを用いた湖岸



植生の再生

8. 丸井英幹 (環境設計)・竹内 隆 (東京都):
1990年当時の霞ヶ浦の植生 (植生回復のための
目標植生)
9. 後藤直和 (霞ヶ浦市民協会): 霞ヶ浦におけ
る最近7年間のアサザ群落の変遷
10. 桜井善雄 (応用生態学研究所): 霞ヶ浦の植生
の変遷

